

交渉の議事要旨

(開催日時)

平成25年8月2日(金) 11:00~11:54(54分)

(開催場所)

札幌開発建設部 4階2号会議室

(出席者)

当局側(札幌開発建設部)

角地 泰英(札幌開発建設部次長)、若松 久志(職員課長)

職員団体側(全北海道開発局労働組合札幌支部)

高久保 陽一(書記長)、和田 章宏(執行委員)、金子 直樹(執行委員)、
橋村 恵美子(執行委員)

(議題)

- 1 当部職員のメンタルヘルスについて
- 2 当部におけるパワーハラスメントが行われない職場環境の整備について
- 3 当部における育児休業及び育児のための短時間勤務を活用しやすい職場環境の整備について

(要旨)

【議題1：当部職員のメンタルヘルスについて】

- (職員団体) 繰り返しメンタル系疾患により長期療養する職員に対しては、職場復帰支援を工夫し、再発を未然に防ぐ努力をしてもらいたい。
- (当局) 病気休職者の職場復帰に当たっては、管理者と主治医との連携のみならず、特に健康管理医との連携強化を図り、「試し出勤」などの実施も含め、人事院の指針に沿った職場復帰支援策を進めていきたい。
- (職員団体) メンタル系疾患の職員がいる課所については、本人や周りの職員の業務配分について特段の配慮をお願いしたい。
- (当局) 各々の職場の実情に応じて、業務の再配分など工夫しながらやっていきたい。

【議題2：当部におけるパワーハラスメントが行われない職場環境の整備について】

- (職員団体) どのような言動がパワハラに当たるかを職員によく周知し、今後ともパワハラが行われない職場環境の整備をお願いしたい。
- (当局) 管理者及び職員に人事院作成の言動例を周知するとともに、パワハラ防止に関するDVD上映による視聴覚教育を実施している。引き続きパワハラ防止に向けた職場環境の整備に努めていきたい。

【議題3：当部における育児休業及び育児のための短時間勤務を活用しやすい職場環境の整備について】

(職員団体) 制度の概要については掲示板等により職員に周知されているが、いまだに同僚の育児休業等の取得に対して理解が低い職員もいることから、職員への更なる周知をお願いしたい。

また、育児休業を取得する男性職員が少ないことから、男性職員が育児休業を取得しやすい職場環境の整備を求める。

(当局) 今後とも職員に対して制度についての周知啓発を行い、制度を活用しやすい職場環境の整備に努めていきたい。

※文責は札幌開発建設部当局（今後修正があり得る）